

JADA

全国自動ドア協会

122

Jan. 2025

JADA 会報

Japan Automatic Door Association

特集

業界誌記者懇談会

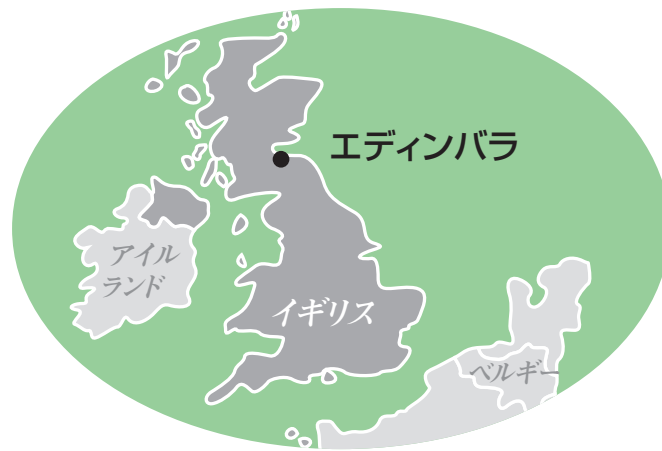


世界遺産：(イギリス) エディンバラの旧市街と新市街

JADA

Cover Story

JAN 2025 NO.122



古のスコットランドと近代が調和する場所

エディンバラの旧市街と新市街はスコットランドの首都エディンバラにある歴史地区で、1995年に世界遺産に認定された。旧市街は中世の要塞の面影を残し、狭い路地や石畳の道、エディンバラ城の威容が印象的。新市街は18世紀後半から19世紀にかけて建設され、ジョージアン様式の建築と幾何学的な都市計画が特徴。このエリアは、歴史的な都市構造と革新的なデザインの融合により、スコットランド文化の象徴となっている。

画：杉井洋一

Contents

新年を迎えるにあたり	3
賀詞交歓会	4
特集●2024年(令和6年)度 業界誌記者懇談会	
自動ドア生産台数の推移	5
事業活動報告	6
質疑応答	7
HOTLINE	8
2024年度 JADA 研修会レポート	10
物語の中の自動ドア	12
JADA PROFILE●ナブテスコ株式会社	13
JADA Archive	13
賛助会員のページ●株式会社ワーム	14
事務局から	15
私の故郷	16
2024年度スケジュール	16

2025年 新年を迎えるにあたり

全国自動ドア協会会長 内田 正則

全国自動ドア協会の皆様、2025年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。旧年中は当協会の活動にご理解を賜り、多大なご支援・ご協力をいただきましたこと、謹んで御礼申し上げますとともに、本年も引き続き宜しく願い申し上げます。

昨年を振り返りますと、元日から能登半島地震、災害級の異常気象、闇バイトによる強盗事件と暗い出来事が相次ぎました。対して、パリ五輪における日本勢の活躍、大谷翔平選手の「50-50」に代表される活躍は我々の心を癒してくれました。

そして今年は、世界的にはウクライナ・中東での紛争が終息を見ない中、経済面では底堅さは維持しつつも、金融引締めの影響により勢いに欠け、4年振りに返り

咲くトランプ米国新大統領の政策次第では世界経済全体への影響も気になります。また、国内経済も、円安によるインバウンド需要、日経平均株価の史上最高値等を背景に、構造的な人手不足が続く中でも賃上げの動きが継続され、個人消費増加による内需拡大、更なる好景気を期待するところです。対して、政治面では石破政権は誕生したものの、支持率低迷と与党過半数割れにより先行きが懸念されます。

この様な状況下、我々が属する建設業界、そして自動ドア業界においても原材料費・輸送費の高騰や深刻化する人手不足と労働時間制限の問題が立ち塞がり続けており、協会としても更なる対応が必要であります。自動ドア需要の首都圏における再開発案件や EXPO 2025大阪等の一極集中を背景とした都市部と地方との格差、また、建設業界における諸問題の影響により、着工・工期が延びつつある状況となっており、これらも協会として対応すべき課題と捉えております。

当協会では「JIS A 4722 歩行者用自動ドアセットー安全性」の制定以来、「JIS 準拠：安全ガイド

ブック」の発行や「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」を通して、施主・管理会社・関連業界・官公庁の皆様幅広く自動ドアセットとしての安全性確保に対する理解と普及に努めてまいりました。昨年、お陰様で創立50周年を迎えることができ、節目として自動ドアセットの安全性確保を目的とした、JIS 啓蒙活動の市場進捗調査を行うこととしました。自動ドアによる事故を無くすため、安全性・利便性の向上に取り組み続けることが協会として社会インフラを支え、存在価値となると捉えております。引き続き、倍旧のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年の干支は十干十二支でいうきのとみ乙巳で「草木がしなやかに伸び広がる様子＝再生や変化を繰り返し柔軟に発展する」年、同時に「辛抱強さが求められる」年になるとされています。したがって、当協会も自動ドアの安心・安全のために、粘り強く JIS 啓蒙活動を続けてまいりましょう。

最後になりますが、本年が関係各位の益々のご健勝と更なるご発展の年となることを祈念し、新年のご挨拶に代えさせていただきます。



2025年

賀詞交歓会

2025年1月17日、東京・アジュール竹芝において全国自動車協会の新春賀詞交歓会が開催されました。開宴にあたって、当協会の活動に日頃からご協力いただいております日本大学理工学部特任教授の青木義男先生にご挨拶を頂戴いたしました。歓談中は、参加者同士で名刺交換や情報交換が行われ、後半は恒例行事の「福当て」で親睦を深めました。



古野副会長



吉田総務部会長



内田会長



今年は、なんとホトロンさんがダブル受賞!



株式会社ホトロン 昼間氏(左)、株式会社ホトロン 内藤氏(右)

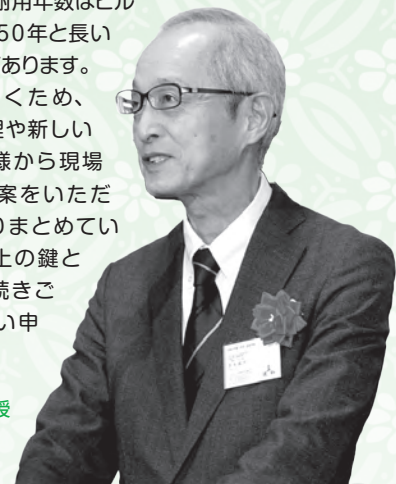
ご来賓挨拶(抜粋)

私は、国土交通省の昇降機等事故調査部会の委員を務めていますが、昨年末から建築物等事故・災害対策部会の委員も兼務することとなり、貴協会とはますます結びつきが強くなった、と感じています。

消費者安全調査委員会が発表した報告書によれば、自動ドアの事故では、特に高齢者の衝突と9歳以下の子供の引き込まれが課題とされています。JIS規格化や製品開発の強化で対応は進んでいますが、今後も注力が必要です。消費者庁の提言を踏まえ、更に安全対策を進めるためにも貴協会との連携を深めていきたいと考えています。

自動ドアの事故対策については、昇降機の安全対策と同様に「消費者目線での改善」が必要です。長期間使用する設備では、新品時には問題がなくても、5年、10年と経つうちに不具合が発生しやすくなります。

消費者は建築設備を「耐用年数はビルと同じくらいで、30～50年と長いだろう」と捉える傾向があります。そのような誤解を解くため、先手を打った維持管理や新しい対策が必要です。皆様から現場での課題や新しい提案をいただき、それを協会で取りまとめていくことが、安全性向上の鍵と考えています。引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。



日本大学理工学部 特任教授
青木義男先生

賛助会員による説明会

賀詞交歓会と同日に、賛助会員交流会が開催されました。賛助会員各社からスライドを使って、あらたなサービス・付加価値をもった新商品の紹介がおこなわれました。賛助会員交流会は、皆様に最新の情報収集と相互に交流を深めていただくことを目的に2005年から毎年開催されています。



二〇二四年（令和六年）度
業界誌記者懇談会

昨年十一月二十八日、東京都立産業貿易センター浜松町館において、業界誌記者懇談会が行われました。
建築市場動向、人手不足や物価上昇にともなう影響など、自動ドアを取り巻く業界情勢について活発な意見交換がなされました。

全国自動ドア協会の現況（2024年度上半期を終えて）

1 自動ドアの需要動向

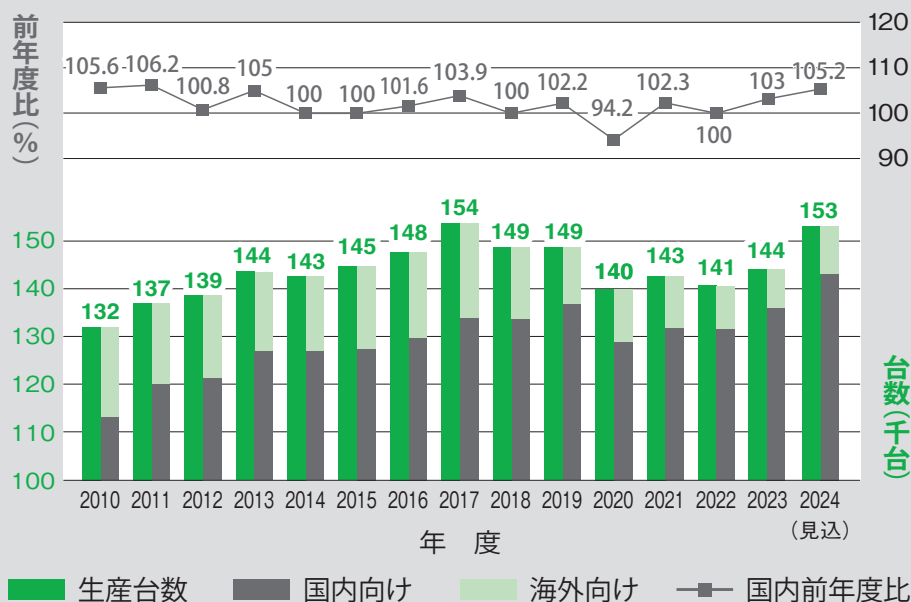
2024年度上半期の自動ドア生産台数の実績と 通期見込み台数

- ・国内向け台数 上半期実績66千台（前年度比101.6%）、通期 143千台/年（見込）
- ・海外向け台数 上半期実績 5千台（前年度比142.4%）、通期 10千台/年（見込）
- ・総生産台数 上半期実績71千台（前年度比103.6%）、通期 153千台/年（見込）

2024年度生産台数見通しを中心とした業界情勢

2024年度生産台数見通しは、国内向け143千台（前年度比105.2%）、海外向け10千台（前年度比125.0%）、総生産台数153千台（前年度比106.3%）といたしました。国内市場向けは、半導体不足による電装部品の供給不安が解消され回復基調が継続し、2030年頃までは首都圏を中心とした大型再開発案件が活況と見込まれます。また、国内への生産回帰や物流倉庫の建設が進み、工場案件が増加。衛生面・セキュリティ強化等による手動から自動ドア化の需要も引き続き堅調です。一方、海外市場では前年度より大きな増加を見込んでおりますが、コロナ以前の2021年度レベルまでの増加となっております。

2010年度から2024年度までの生産台数推移



2024年度 予想・見込	総生産	前年度比	国内向け	前年度比	海外向け	前年度比
5月予想 ¹⁾	146千台	101.4%	138千台	101.5%	8千台	100.0%
10月見込 ²⁾	153千台	106.3%	143千台	105.2%	10千台	125.0%

1)：2024年度初め(5月)の予想値
2)：半期経過後(10月)の見直し値

※年度は4月～3月

事業活動報告



内田会長

2 自動ドア施工技能士の現状

厚生労働省認定国家資格「自動ドア施工技能士」の2023年度技能検定では、258名が受検し173名が合格という結果になり、自動ドア施工技能士の全国累計数は1級4,084名、2級4,081名、合計8,165名となりました。本年度の検定に臨む受検者の総数は253名となり、検定の結果は来年の春に発表されます。

●自動ドア施工技能検定受検者数と合格者数

年度	1級技能士	2級技能士	合計
2023年度 検定受検者	134人	124人	258人
2023年度 検定合格者	99人	74人	173人
2024年度 受検申請者	117人	136人	253人

自動ドアの設置現場でその品質と性能をしっかりと上げることができる技能者は、その技能を駆使して、自動ドアの安全性向上、快適性能の維持に貢献、施主・建物管理者の皆様の満足度を高め、自動ドアを利用する通行者の皆様の信頼を頂くうえで大変重要な役割を担っています。

3 技術基準等の制定・改訂活動

JIS規格として自動ドア開閉装置の性能規格を新たに制定すべく活動しております。

2025年以降の制定に向け現在、各方面の有識者を含め委員会、分科会を開催し、協議・意見調整を実施しています。



4 自動ドアの安全に関する取り組み

通行者への安全啓発資料「自動ドアの安全な通り方」「自動ドアを正しくご利用いただくために」をより分かりやすく改訂しています。また「歩行者用自動ドアセット(引き戸)安全ガイドブック」についても見直しを実施しており、今年度中に完了を予定しています。

5 その他

実務知識研修会開催

2024年9月27日に全国から約80名の方に参加していただき、アジュール竹芝にて「実務知識研修会」を開催しました。全国自動ドア協会会員各社の経営者、営業、技術、保守、サービス、総務人事など各職種の方々が参加され、以下のテーマについて学びました。

第1部 「海外人材市場の動向及び採用戦略」 についての勉強会

講師：(株)総合キャリアオプション 道家 佑季氏
(株)キャムテック 前田 祐希氏

第2部 「怒りをコントロールできれば人生は変わる！ 怒りを味方につける9つの習慣」についての講演

講師：スポーツジャーナリスト 瀬戸口 仁氏

第1部、第2部ともに、我々にとって関心の高い話題について、各講師の方々より講演をお聞きすることができました。



左から林技術基準委員長、高橋副会長、内田会長、武藤企画委員長

事業活動報告終了後、質疑応答が行われました。記者の方々の質問に対して、各委員長が回答しました。

Q 上半期の実績値と下半期の予想値について、5ポイントほど上振れしている理由を教えてください。資料に記載されている衛生面やセキュリティの需要、国内生産への回帰がそのまま反映されていると理解して良いでしょうか。また、大型物件の動向についても教えてください。



ガラス新聞社
福井氏

A 大型物件の完了件数は少なかったのですが、例えば間仕切り用に自動ドアが必要になったとか、そういった当初の建設計画になかった需要が大幅に上振れしています。また、“2024年問題”で長距離輸送が難しい中、高速道路沿いに物流センターの建設が進んでおり、そうした施設も需要増加に寄与しています。



武藤 企画委員長

Q 自動ドア開閉装置の性能規格を新たに制定することですが、具体的にはどのような基準になるのですか？

時報社
水戸氏



A 現在の「建築工事標準仕様書」に記載されている開閉速度といった基本的な性能をもとに、耐風圧性能や安全性など、自動ドアに求められる基準値と試験方法を新たにJIS化しようとしています。国土交通省からも「JIS化して、基準を明確にすべきではないか」というご指導もありまして、2025年度の制定を目指し進めています。



林 技術基準
委員長

Q それは既存に比べて、基準を引き上げていくという認識で良いのでしょうか？

サッシタイムス
山根氏



A 基準を引き上げるというより、統一した規格を制定することで、ユーザーが各社の製品を公平に比較できるようにすることが目的です。

Q 2024年問題(物流・運送業の人手不足など)の影響について教えてください。(ガラス新聞社 福井氏)

A 工期の延長や資材費高騰の影響が見られます。会員各社からは、一部の建築プロジェクトでは着工が遅れ、再開発案件のスケジュール調整が必要となっていると聞いています。

Q 技能検定の合格者が少ないな、という印象を受けました。今回、試験が難しくなったとか、そういうことはありますか。また自動ドア施工技能士は足りていますか？



ミルト出版
堤氏

A 今年度の試験が特に難しかったとは考えておりません。技能検定の合格者数および合格率は、例年と比べて大きな変動はありません。

自動ドア施工技能士については、会員各社において「不足している」という認識があると思います。そのため、技能検定を通じて現場の技能を適切に評価し、技術者の地位向上と意欲向上を図ることが、技能士を増やすためのひとつの重要な手段だと考えています。



小崎 技能開発
委員長

Q 近い将来、需要拡大が期待されている分野はありますか？

日刊建設通信新聞社
阿部氏



A 今後は“開き戸”の自動ドア化が増加すると見込まれています。例えば、清掃ロボットや配膳ロボットについて考えてみて下さい。ロボットが仕事をするためには、室内に自動で入室する必要があります。日本は引き戸文化ですが、オフィスや商業施設には、開き戸も沢山あります。そのような出入口を新たに自動ドア化する、という需要がこれから増えていこうと期待しています。



総務部会
より

総務部会合同会議、開催



2024年10月17日、総務部会合同会議(企画委員会、安全委員会、広報委員会)が、福島県郡山市の「郡山商工会議所」にて開催されました。

企画委員会からは「非加盟自動ドア業者に関する特定情報調査」と「生産台数の上半期実績および年間見通し」について報告が行われました。また、安全委員会からは「自動ドア事故情報の分析」について説明があり、広報委員会からは「50周年記念誌」の発行や協会ホームページの更新内容について報告が行われました。活発な意見交換が行われながら、3時間以上にわたる会議は滞りなく閉会しました。

AAADM
レポートより

自動ドアに関する意識調査

～AAADMに学ぶ～

米国自動ドア製造者協会(AAADM: <https://www.aaadm.com>)は、自動ドアに関する消費者および業界の意識調査結果をwebサイトにて発表しています。この調査は、一般消費者と建築業界、教育機関、小売業界、ホスピタリティ業界の専門家を対象に行われ、自動ドアの重要性や普及の現状、期待される機能などが示されています。



■消費者が求める自動ドアの重要性

調査に参加した447人の米国消費者のうち、ほぼ99%が自動ドアを手動ドアよりも好むと回答しました。主な理由は以下の通りです。

利便性	荷物を持っている際やベビーカーを押しているときでも、手を使わずに通れる
アクセシビリティ	高齢者や身体障害者、子供連れの利用者に優しい設計
快適性	商業施設での顧客サービスの向上につながる

※アクセシビリティ：製品の使いやすさ

■業界専門家から見た自動ドアの魅力

業界の専門家97名への調査では、自動ドアの評価が次の点で一致しました。

アクセシビリティ	全ての分野で最も重要な要素
安全性とセキュリティ	特に人の流れが多い施設での必要性が高い
維持コストの低減	初期費用よりも長期的な運用コストの方が注目される

また、「普遍的アクセシビリティ」のトレンドが注目されています。これは、高齢者や身体障害者に限らず、全ての人々に使いやすい施設設計を目指す動きです。

■自動ドアが特に重要視される施設

消費者の調査結果によると自動ドアが最も重要とされる場所は右記の通りです。

一方、レストラン(50.1%)やファーストフード店(40.9%)では、比較的低い結果が示されました。

1. 病院	98.2%
2. 空港	94.9%
3. ホテル	86.8%
4. 大型商業施設	84.0%
5. 小売店	80.1%

■今後の展望と課題

調査対象の78%が、今後も自動ドアの普及がさらに進むと予想。しかし、以下の課題も明らかになりました。

予算の制約	多くの施設が必要性を認識しつつも予算不足で導入を見送っている
メンテナンスのイメージ	自動ドアの維持費が高いという誤解が一部に存在
技術革新の期待	メンテナンスの容易さや取り付けの簡便化が求められる

■まとめ

AAADMの調査結果は、自動ドアが安全性、利便性、アクセシビリティにおいて優れたソリューションであることを裏付けています。特に商業施設や公共施設では、顧客満足度向上のため、自動ドアの採用が重要です。今後の技術革新と情報提供の強化が、普及の鍵となりそうです。

海外通信

海外の自動ドアステッカー

白地に黒字のみの
素朴なデザイン



海外の警告表示ラベル



私たちの日常に欠かせない存在となっている自動ドア。今回は自動ドアステッカーに焦点を当て、海外と日本の違いを見ていきましょう。

海外の自動ドアのステッカーは、日本に比べてシンプルなデザインが目立ちます。例えばヨーロッパの自動ドアには、白地に「Automatic door」と大きく書かれた文字だけの素朴なステッカーが貼られています。建物やエントランスの意匠に配慮する、といった印象はあまり受けません。

海外と日本においては、色彩や視覚的な要素も異なるアプローチが見られます。海外の警告表示ラベルは、赤、黄、緑といったビビットなカラーを好み、視覚的に注意を引こうとしています。日本でも赤や黄色を使うことはありますが、色合いやサイズは海外に比べて控えめで、建物の意匠を損なうことなく、落ち着いた印象のデザインが多いです。一方、「CAUTION(注意)」「KEEP MOVING(立ち止まらない)」といった文言は、国境を越えても共通のようです。

自動ドアステッカーには、各国の文化や習慣、美意識やデザイン感覚、安全に対するアプローチの違いが反映されていることが良く分かります。

海外通信

熱帯モンスーン気候～タイの自動ドア～



出入口の真上に設置されたエアーカーテン

タイは観光業が盛んな国で、近年首都のバンコクを中心に急速に都市化が進んでいます。商業施設やオフィスビル、ホテルに加えて、病院や空港などの公共インフラも増加しており、自動ドアの需要もそれに伴って少しずつ増えています。

タイは熱帯モンスーン気候で、高温多湿で蒸し暑く、日本の真夏が一年中続いているような地域です。そのため、冷房効率を高めてくれる自動ドアの存在が重宝されています。

タイのエントランスの特徴として印象深いのは、自動ドアの上にエアーカーテンを設置している点です。エアーカーテンと自動ドアの相乗効果によって、室内の快適な温度を保ちながら、空調の消費エネルギーを削減することに成功しています。

タイの電気代は、周辺のアジア諸国と比べて高い水準にあります。特に空調を多用する環境では、エネルギー効率を向上させることが重要視されているのです。

2024年度 JADA研修会レポート

開催日 2024年9月26日(木)

会場 アジュール竹芝

主催 ● 全国自動ドア協会 企画委員会

2024年9月26日、東京のアジュール竹芝において、企画委員会主催の研修会が行われました。JADAでは自動ドアに関連する知識習得のみならず、さまざまな分野にテーマを広げることで、顧客サービスの質の向上と需要拡大に貢献するべく、毎年研修会を企画・開催しています。

第1部では、昨今の建設関連作業員を中心とした人材不足問題解決の一助として、海外人材採用についての説明が行われました。第2部では、怒りのコントロールをテーマにビジネスだけでなく様々なシーンにて活用できるテクニックについて講演いただきました。

第1部 海外人材市場の動向及び採用戦略



講師 (株)総合キャリアオプション
道家 佑季氏



講師 (株)キャムテック
前田 祐希氏

技能実習制度と特定技能制度

第1部では、日本の建設業界における人材不足の問題に対して、海外人材の採用がどのように行われているかが紹介されました。特に技能実習制度と特定技能制度という2つの制度について、詳細な説明が行われ、それぞれの利点や課題が述べられました。

1993年に導入された技能実習制度は、主に東南アジアの開発途上国へ技術を提供することを目的としています。ベトナムやフィリピン、インドネシアからの実習生が多く採用され、労働力不足を補う手段として活用されていますが、あくまでも国際貢献を目的としているので、受け入れられる労働者は該当する職種に限定されています。労働者は現地で6ヶ月程度の日本語教育を受けてから来日しますが、流暢な日本語を話せるレベルに達していないことが多く、課題も残されています。

一方、2019年に導入された特定技能制度は、深刻化する国内の人材不足への対応として、一定の専門性や技能を有する即戦力の外国人を受け入れることを目的とした制度です。この制度では、労働者は日本人と同等の賃金や労働条件で働くことが求められます。特定技能には1号と2号の在留資格があり、1号は最長5年の在留が許可され、2号に昇格すると実質的に無期限での就労が可能となります。

また、特定技能制度には建設業を含めて12分野の業種があり、技能実習制度に比べると労働者の柔軟な採用が可能です。コロナ禍以降、技能実習制度を終了した労働者がそのまま特定技能へ移行するケースが多かったことが急成長の要因となっています。

外国人労働者は増加中

建設分野で活躍する外国人の数は11万人で、全産業の約6.4%です(2023年10月現在)。水際措置の緩和や制度の周知に伴い労働者は増加中で、建設業の人材不足は少しずつ改善されていますが、外国人労働者の受け入れにあたっては、CCUS(建設キャリアアップシステム)への登録やJAC(建設技能人材機構)への加入が必要となります。同時に賃金の適正な支払い、労働環境の改善、悪質なブローカー対策、適切な監理・保護・支援の実施といった課題も残っています。また、技能実習制度と特定技能制度が一貫性のある制度ではないことから、待遇面の格差が生まれてしまうなど、受け入れ側も職種・業種により異なる実態が生まれています。

特定技能制度の導入によって、より長期的な労働者の確保が期待される一方で、今後は労働者の待遇や支援体制を整えることが重要となっています。課題解決にあたり、有識者会議などを通してより良い制度へ変えていくという方向性が示されました。企業には、CCUSやJACを通じて制度を効果的に活用し、持続可能な雇用環境を構築することが求められています。

技能実習制度と特定技能制度の比較

	技能実習(団体監理型)	特定技能(1号)
在留期間	1号:1年以内、2号:2年以内、3号:2年以内(合計で最長5年)	通算5年
技能水準	なし	相当程度の知識又は経験が必要
入国時の試験	なし(介護職種のみN4レベルの日本語能力要件あり)	技能水準、日本語能力水準を試験等で確認
送出機関	外国政府の推薦又は認定を受けた機関	なし
監理団体	あり(主務大臣による許可制)	なし
支援機関	なし	あり(出入国在留管理庁長官による登録制)
外国人と受入れ機関のマッチング	通常監理団体と送出機関を通して行われる	受入れ機関が直接海外で採用活動を行う(又は国内外のあっせん機関等を通じて採用することが可能)
受入れ機関の人数枠	常勤職員の総数に応じた人数枠あり	人数枠なし(介護分野を除く)
転籍・転職	原則不可。ただし、倒産などやむを得ない場合や、2号から3号への移行時は転籍可能	同一の実務区分内又は試験により、その技能水準の共通性が確認されている業務区分間において転職可能

第2部

怒りをコントロールできれば、人生は変わる！ 怒りを味方につける9つの習慣

良い怒りと悪い怒り



講師 | スポーツジャーナリスト
瀬戸口 仁氏

怒りをコントロールする方法を学べば、人生が変わります。怒りは私たちの日常において強力な感情であり、良い方向にも悪い方向にも影響を及ぼす可能性があります。しかし、怒りを上手に扱うことができれば、人生の質が向上し、より健全な人間関係や成功に繋がると言われています。

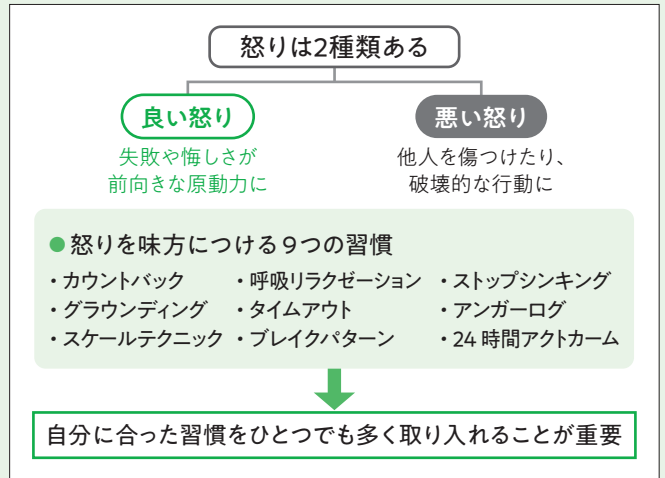
まず、怒りの感情には「良い怒り」と「悪い怒り」があります。良い怒りは、失敗や悔しさをバネに前向きに努力する原動力となるものです。一方で、悪い怒りは無意識に他人を傷つけたり、自分自身を破壊的な行動に導いたりすることがあります。例えば、カッとやって他人に暴力を振るう、言い争いがエスカレートしてしまうなど、悪い怒りはその場での短絡的な行動に結びつきがちです。

怒りをコントロールする習慣

そこで重要になるのが、怒りを適切にコントロールする技術です。テニス選手のロジャー・フェデラーや錦織圭はかつて短気で、試合中に怒りを爆発させることがありました。しかし、怒りをコントロールする技術を学んだことで、より安定したパフォーマンスを発揮するようになり、世界で成功を収めました。

いくつかの具体的なテクニックを紹介します。まず「6秒ルール」です。人の怒りがピークに達するのは6秒間とされており、その間を上手くやり過ごすことができれば、最悪の事態を避けられるのです。これを実践するための習慣として「カウントバック」や「呼吸リラクゼーション」が効果的です。例えば、大きな数字から順に3つずつ引いていく「カウントバック」は頭を冷やす効果があり、怒りが収まるまでの時間を稼ぐのに役立ちます。また、深呼吸を行うことで心と身体を落ち着かせ、冷静な判断を取り戻すことができます。

さらに、怒りを適切にコントロールするには、環境から一時的に離れる「タイムアウト」も有効です。怒りにまかせてその場で衝動的に行動するよりも、一旦距離を置いて状況を冷静に見つめ直すことで、より理性的に対応できるようになります。ただし、この時に飲酒や運転などは避けるべきで、他の方法で心を落ち着かせることが推奨されています。



自分に合った方法を取り入れる

日常生活でも怒りの連鎖を断ち切ることが大切です。職場でのストレスが家庭に持ち込まれ、家族や友人に対して怒りをぶつけてしまうことがあります。これを防ぐためにも、自分自身の感情を適切に扱う習慣が必要です。怒りを制御することで、周囲との関係も良好になり、結果としてより充実した人生を送ることができるでしょう。

怒りをコントロールする技術を全てマスターする必要はありません。重要なのは、自分に合った習慣をひとつでも多く取り入れることです。怒りと上手に付き合うことで、日々のストレスを軽減し、より前向きに、そして冷静に物事に対処できるようになるでしょう。



物語の中の自動ドア

第15回

「イコライザー」 2014 米・映画

マフィアの暴力的支配から
逃げられない娼婦アリーナ
(クロエ・モレッツ)



19秒で
悪を裁く
男!!



マフィアとの決戦は閉店後のホームセンター



自動ドアがスッと閉じて
単独の火蓋が切って落とされる!!



元 CIA (中央情報局) のマッコールは、引退後は一般人として静かな生活を送っている。ある夜、マッコールはアリーナがロシア系マフィアに虐待されていることを知り、彼女を救うために話し合いを試みる。しかし交渉は決裂。危険な戦いに身を投じていく…

『イコライザー』は、1980年代に人気だったTVドラマ「ザ・シークレット・ハンター (原題：イコライザー)」を基にした、2014年公開のアクション映画です。アカデミー賞を二度受賞 (主演と助演) しているデンゼル・ワシントンが主演を務めました。

本作のキャッチコピーは「19秒で悪を裁く」。主人公マッコールの日常の姿と圧倒的な強さのギャップが魅力的な作品です。表の顔は物静かで知的、誰に対しても穏やかで平等な態度。しかし、その裏には一人で何人もマフィアをあっさり倒す、笑ってしまうほどの強さが潜んでいます。勧善懲悪の爽快感が人気を博し、2018年には続編、2023年には完結編が作られました。

物語の中盤に、マフィアと闘うことを決意したマッコールが手動ドアを3回開けては閉める、という印象的なシーンがあります。この場面をなぞるように、クライマックスでマフィアの幹部との最終決戦が始まるその時、戦いの舞台となるホームセンターですべての自動ドアのスイッチが操作され、一斉にロックされる様子が映し出されます。

マッコールが過去に在籍していたCIAは、主に海外における諜報活動を担当し、一般市民に目撃されない任務の遂行を基本としています。マッコールはマフィアの人質として監禁されていたホームセンターの従業員 (主人公の友人) を裏口から外へ避難させた上で、悪と対峙します。

自動ドアによって遮断された空間は、主人公とマフィアの戦闘が一般社会から隔離されたことを意味しています。「弱さを助け強さを挫く」、影のヒーローの信念と生き様を表す、自動ドアを使った名シーンです。

NABCO ナブテスコ株式会社 住環境カンパニー

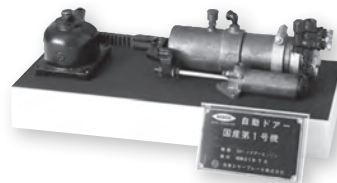
弊社は、株式会社ナブコと帝人製機株式会社が2003年に経営統合して設立されました。建物用自動ドアや駅のホームドア、鉄道車両用ブレーキシステム、産業用ロボット向け精密減速機、航空機用フライト・コントロール・アクチュエーション・システムなど、独創的な「うごかす、とめる。」のモーションコントロール技術で、移動・生活空間に安全・安心・快適を提供しています。

自動ドア事業の歴史は、株式会社ナブコの前身である日本エヤーブレーキ株式会社が1956年に国内初の建物用自動ドアの製造に成功した時に遡ります。それから69年、多くのお客様にご愛顧いただき、NABCOの自動ドア駆動装置の累計生産台数は間もなく300万台に到達します。

弊社では、お客様に新たな価値を提供し、自動ドア市場をより魅力的なものにしていくための取り組みも始めています。その一つが昨年より開始しました、自動ドアを活用したサイネージ事業です。自動ドアのガラス固定部に設置できる専用のサイネージディスプレイを開発し、エントランスの自動ドアを効果的かつ効率的な情報発信ができる新しいメディアとしてご活用いただけるようになりました。

「さあ、これからの“だれでもドア”をつくろう。未来のあたりまえを、NABCOのドアから。」というブランドビジョンのもと、自動ドアのサイネージも、数年後には「あたりまえ」になっていることを目指してまいります。

〒102-0093 東京都千代田区平河町2丁目7番9号
URL: <https://www.nabtesco.com/>



ナブコ国産1号機
空圧式自動ドアエンジン



自動ドア用サイネージ

会社概要

代表者	代表取締役社長 木村 和正
設立	2003年9月29日
事業内容	精密減速機、油圧機器、鉄道車両用機器、航空機器、船舶機器、自動ドア、福祉機器などの製造・販売



1998年9月、全国自動ドア協会はPL対応として「警告表示ラベル」の徹底を呼びかけました。

PL法とは1995年に施行された「製造物責任法」のことで、製造物の欠陥によって人の生命や身体、財産に損害が生じた場合に、被害者が製造業者等に対して損害賠償を求めることができる法律です。

施行以来大きな改正がなかったPL法ですが、一方で「製造物」の定義には変化がみられ、近年AIやソフトウェア、自動運転といったテクノロジーも含めるべきかどうかの議論が進んでいます。

「警告表示ラベル」の徹底が 事故予防の第一歩。

自動ドアによる事故は、その所有・管理者よりも自動ドアの設置されているビル、公共施設、店舗等を利用する不特定多数の人が被るケースがほとんどです。

事故内容では「ドアに挟まれた」が圧倒的に多く、10歳未満の子供と60歳以上のお年寄りが過半数を占めています。20～30代ではドアへの衝突事故が多く、ガラスでのケガや骨折、打撲などがみられます。我々が実施する事故予防対策は、一般通行者に自動ドアの特長・性能などを認識してもらうことが必要ですが、それを具体的にアピールする適当な手段が見当たりません。従来から実施している自動ドアの原本体に貼る「自動ドア表示ステッカー」と、PL



対応として実施する「警告表示ラベル」によって、安全でスムーズな通行を実現しなくてはなりません。

また事故が起きてしまった時、情報の第一次受信者となることが多い販売・施工業者は、初期対応の心構えを学習しておかなければなりません。

自動ドア事故の場合、調査段階での事故の再現がなかなか難しいため、事故直後の状況把握が重要です。PLクレームの未然防止活動や社内体制のあり方などは、協会発行の「製造物責任法対応PLガイドライン」「製品の安全確保のための表示に関するガイドライン」などを参照してください。

会報 第62号より
(1998年9月発行)



おかげさまで48周年ご利用ありがとうございます。

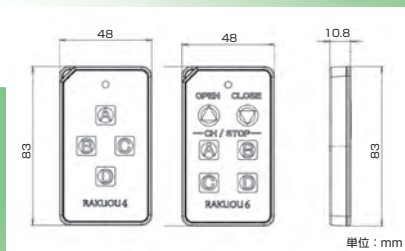
1976年創立以来、自動ドア業界において可能な限りご要望を反映した、特色ある数々の製品の開発・販売に取り組んでいます。今後とも、弊社製品のご愛顧を何卒宜しくお願い致します。

■特定小電力型無線リモコン



▲RAKUOU4
1点式送信機
WYT400

▼RAKUOU6
3点式送信機
WYT600



▲楽王Ⅲ 受信機
WYR350

▲外部アンテナ 4mケーブル付
WYA100(D)

特長

- 送信機 1 台で受信機 4 台操作可能 (4 チャンネル対応)
- 実用操作距離は、外部アンテナ無しで見通し約 100m (使用環境により異なります)
- 送信機を紛失時に紛失した送信機のみ ID 番号の消去が可能 (個別消去には ID 番号管理が必要)
- 操作ボタンを押すとキー音が鳴ります (消音も可)
- RAKUOU6 は 2 アクション操作 (誤操作防止)、1 アクション操作の切替が可能
- 受信機 WYR350 には標準 500 台まで送信機登録可能
- 従来品 (楽王Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ) 送信機に比べ防水性が向上 (IPX6 相当)

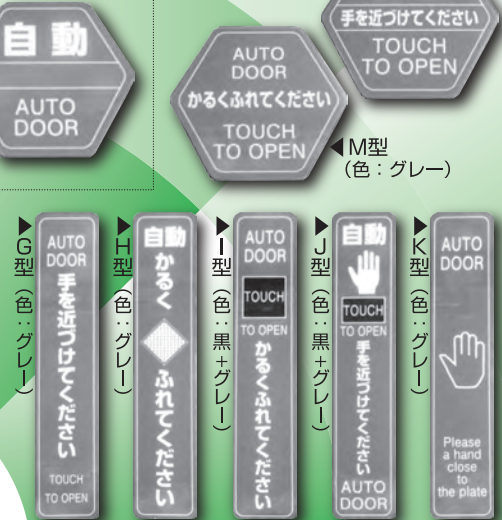
■化粧プレート

▼F型 (色：グレー) ▼N型 (色：グレー)



■ソフトタッチプレート

▶L型 (色：グレー) ▶M型 (色：グレー)



※「WAVE」もご用意できます。(別途打合せ)

■吊元調整ライナーC型 (t=4)



100、120ピッチでも
使用可能です。

厚み：4mm
幅：28mm
材質：ABS
色：黒

■中間方立 取付金具F2型 (板厚：1.5mm)



※写真はF2型にD-20取付時

■逆さ振れ止め D-20型



※写真はF2型にG-20 (□20)取付時
※板厚3mmのF3型もあります。

※C型とD型の取付ベース部の穴の径はφ5.5、長穴は5.5-10



会社概要
社名：株式会社ワーム
創立：1976年10月2日

本社：〒175-0083 東京都板橋区徳丸3-4-3
和光オフィス・工場：〒351-0114 埼玉県和光市本町24-31
TEL. 048-299-8551 FAX. 048-299-8552
URL：http://www.wrm.co.jp E-mail：info@wrm.co.jp

事務局から

● 被表彰者

2024年11～12月、永年にわたり技能検定の推進に尽力されたことに対して、東京都知事、大阪府職業能力開発協会からそれぞれ感謝状が贈られました。

また、2023年度(令和5年度)の技能検定試験合格者の中で、特に優秀な成績をおさめた方が東京都職業能力開発協会より表彰されました。

功労者



寺岡オートドア(株)

小池 誠

東京都知事



寺岡オート・ドアシステム(株)

池谷 潤

東京都知事



扶桑電機工業(株)

古賀 健一郎

大阪府職業能力開発協会



寺岡オートドア(株)

田代 和史

大阪府職業能力開発協会



ナブコシステム(株)

和田山 邦博

大阪府職業能力開発協会

成績優秀者



扶桑電機工業(株)

藤田 健二

1級技能士

編集後記



全国自動ドア協会にお世話になり、1年が経過いたしました。本号より編集後記を担当させていただきます。今後もJADA会報をより皆さまのお役に立てるよう努めてまいりますので、ご愛顧いただくとともにご意見やご要望などお気軽にご連絡ください。
(T.T)



私の故郷は和歌山県の日高郡日高川町です。

町名の通り日高川が流れ、山々に囲まれた自然豊かなところです。春には桜や藤の花が咲き誇り、秋には紅葉を楽しむことができます。

実家から車で約15分の場所にある自慢の温泉「美山の湯」は、1988年のNHK連続テレビ小説『純ちゃんの応援歌』のロケ地となった旧美山村にあります。帰省するたびに母を連れ、この温泉で心身の疲れを癒しています。

日高川町は、一度訪れると時間を忘れ、1日があっという間に過ぎてゆく。そんな素敵な場所です。宿泊施設もありますので、ぜひ一度訪れてみてください。



日本一長い藤棚ロード



旧美山療養温泉館

全国自動ドア協会 2024年度スケジュール (2024年4月～2025年3月)

	2024年										2025年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
総会等			12日 定期総会			26日 研修会					17日 賀詞交歓会		
幹部会		15日			22日			13日			7日		
理事会		21日				12日		28日			19日		
企画委員会	26日			18日			17日			17日			
安全委員会	23日			30日			17日			22日			
広報委員会	30日			4日			17日		19日				
総務部会 合同委員会							17日						
技術部会		16・17日											
技術基準委員会	12日		19日		7日	11日	16日	20日	13日				
技能開発委員会					30日							28日	
技能開発作業部会		10日	7日	12日	9日	13日					28日		

JADA
全国自動ドア協会

〒105-0022 東京都港区海岸1-9-18
TEL 03-3436-3287 FAX 03-5473-9576
Eメール: jadainfo@pastel.ocn.ne.jp
URL: http://jada-info.jp

全国自動ドア協会 (Japan Automatic Door Association) は、1974年4月に発足。自動ドアの製造およびその販売会社で構成され、社会に快適で安全な自動ドアを提供することを目的とした民間の団体です。

発行責任者: 広報委員長 吉田 毅
編集・制作: (株)グループ・ティー
発行月: 令和7年1月

本誌の内容は、JADAのHPでも閲覧いただけます(発行日より約2年間)

